

## 2019年3月期第1四半期 決算説明会 Q&Aサマリー

**Q: T&Mの営業利益が、売上高の伸び以上に改善した理由は何か？**

**A:** 営業利益の改善要因は、①モバイルセグメントの売上増加、②5G新製品の売上による粗利率の改善、③経営構造改革による固定費削減、の3点である。

**Q: PQA増収減益の理由は何か？**

**A:** 次の成長を見据えた営業基盤強化、経営インフラ構築（IT）などの競争力強化の投資が主な理由である。

**Q: 5Gの測定ではなぜチャンバー（電波暗箱）が必要になるのか？**

**A:** ミリ波帯を用いる5G端末は、周波数帯域幅が広く、アンテナエレメントの数が多いため、従来の測定用外部RFコネクタがなく、また、ビームフォーミングを用いるためその指向性を評価することが必要である。そこで、5G測定器では新たにOTA（Over The Air）、広帯域幅対応が求められている。今後、端末の製造検査においてもチャンバーは必要になると考えているが、具体的な検査仕様はまだ決まっていない。

**Q: チャンバーの大きさはどのくらいか。**

**A:** 当社のチャンバーの大きさは、横幅135cm、高さ105cm、奥行き100cmである。検証項目によって、チャンバーの大きさは変わる。